

令和 5 年 度

事 業 計 画 書

令和 5 年 4 月 1 日 から
令和 6 年 3 月 3 1 日 まで

一般財団法人 明石市産業振興財団

令和5年度 事業計画書

I 基本方針

昨年はウィズコロナが定着し、日常生活や経済活動の正常化が見られ出したものの、第7波では過去を上回る規模で感染が拡大しました。またロシアによるウクライナ侵攻の長期化により原材料やエネルギー価格の高騰など世界的なインフレが拡大しました。

明石市産業振興財団では、コロナ禍プラス厳しい経済状況下で経営を行う事業所や起業を考える方に、地域の産業支援機関や金融機関と連携を図り、下記事業を実施し支援を行います。また、国や県の施策や経済対策事業や情報、財団の事業や他の支援機関からの情報をSNSにより提供します。

(1) 起業・創業の支援

明石の地域経済の担い手を創出するため、明石商工会議所など関係機関と共同し、起業・創業の機運醸成や助成金活用を促すセミナーを開催します。

新規事業の準備や個別相談では具体的な事業計画の作成を支援する起業ステップアップ講座の開催や起業家による体験談トークライブ等を開催し、円滑なスタート準備を支援します。また、起業後間もない方を対象に経営上の問題や事業計画の見直しなどを行うセミナーをワークショップで開催し、問題解決や参加者同士の情報交換や交流の場として提供します。

(2) 販路開拓・売上拡大の支援

補助金活用セミナーをはじめ、デジタルトランスフォーメーション(DX)対応の配信型ビジネスによる新たな収入源の作り方セミナーや実践伝わる動画の作成セミナーの開催、店舗の集客力を高めるため「見つけてもらう」「選んでもらう」に役立つ看板やPOP、広告など実践を含んだセミナーを開催し、販路開拓、売上拡大に役立つ支援を行います。また昨年度に引き続き、AKASHI 伴走型クラウドファンディング・プロジェクト事業を行い、地域経済への波及性の高い実現可能なプロジェクトを支援します。

(3) 人材確保・定着の支援

欲しい人材を獲得する採用面接セミナーや、管理職やリーダーを対象に部下の成長ややる気が起きる仕事の効果的な任せ方を学ぶセミナー、早期離職防止のため組織内のコミュニケーションや人間関係構築の面から考えるセミナーを開催し、人材の定着や確保を支援します。

Ⅱ 事業計画

1 起業・創業の支援

(1) 全市的な創業支援ネットワーク

創業については、明石市が策定した「創業支援等事業計画」に財団の事業が位置づけられたことから、今後、明石市、明石商工会議所、日本政策金融公庫、ウイズあかしとも連携して起業家の発掘・機運醸成などに取り組みます。

(2) 起業家支援助成金活用セミナー

市内で起業しようとする個人、また起業して間もない起業家を対象に、兵庫県の起業家支援助成金等の積極的な活用を促すセミナーを開催し、スムーズな事業の立ち上げを支援します。希望者には事業計画作成等について個別相談を実施します。

時 期	令和5年5月中旬頃
場 所	明石商工会議所会議室またはオンライン会議室 Zoom
内 容	○県の起業家支援助成金事業の概要と申請手続の説明 ○事業計画作成についての個別相談 ほか
定 員	20名

(3) 起業ステップアップ講座

起業準備やビジネスプラン作成等、起業に必要な知識を学ぶ講座を開催し、新たなビジネスの円滑なスタートを支援します。希望者には事業計画作成等について個別相談を実施します。

時 期	令和5年5、6月 ・ 10、11月 （各期間に2回程度）
場 所	オンライン会議室 Zoom
内 容	○起業準備 ○ビジネスプラン、資金計画等の知識 ○起業創業についての個別相談 ほか
定 員	各15名

(4) 起業応援セミナー

明石市内の創業支援機関と共同して、市内で起業を目指す個人等を対象に、創業の普及啓発や機運醸成を図るセミナーを開催し、起業家の効果的な発掘と支援を行います。

時 期	令和5年7月頃
場 所	明石商工会議所ホール・オンライン中継
主 催	明石市産業振興財団、明石商工会議所、日本政策金融公庫
内 容	○講演と起業家によるパネルディスカッション ○県立・市立図書館による関連図書紹介資料の配布 ほか
定 員	会場50名・オンライン50名

(5) 起業体験談@オンライン

起業家の体験談、専門家等によるミニセミナー、質問コーナー等で起業の知識を得るとともに、交流の場を提供します。

時 期	年度内3回程度
場 所	オンライン会議室 Zoom
内 容	○起業家体験談 ○専門家等によるミニセミナー、質問コーナー
定 員	各30名

(6) 起業者のための課題解決ワークショップ

起業後間もない方等のフォローを目的として、課題解決のヒントを得るためのワーク、起業家同士の情報交換等の場を提供します。

時 期	令和6年1月頃
場 所	明石商工会議所会議室
内 容	○起業した方のためのミニセミナー ○課題解決のためのワーク ほか
定 員	12名

2 販路開拓・売上拡大の支援

(1) 補助金活用セミナー

これからの30年継続企業を目指し、事業再構築補助金を中心に、ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金の活用と注意点そして経営改善に結びつける取組みを解説します。

時 期	令和5年4月5日(水)
場 所	明石商工会議所会議室
内 容	○各補助金における現在までの採択状況 ○補助金採択の可能性を高める申請書作成のポイント等 ○補助金作成を通じたビジョン共有・長期経営計画への貢献 ほか
定 員	20名

(2) 配信型ビジネス入門セミナー

「あなたにもできるDX～配信型ビジネスで稼ぐ・新たな収入源の作り方」

本業の課題解決等の相乗効果となり、更なる発展に繋がる可能性を秘める配信型ビジネスについて解説するセミナーを開催し、販路開拓・売上向上を支援します。

時 期	令和5年6月頃
場 所	明石商工会議所会議室
内 容	○DXとは何か ○配信型ビジネスの現状 ○成功モデルを分析し、理解する ほか
定 員	20名

(3) SNS動画マーケティング入門セミナー(2回シリーズ)

動画についてのマーケティングおよび活用の効果や事例を解説するとともに、動画作成を実践するセミナーを開催し、販路拡大を支援します。

時 期	令和5年8～9月
場 所	明石商工会議所会議室
内 容	【第1回】講義編 ○動画マーケティングの将来性について

○急速に進むコンテンツの動画へのシフト

○動画で集客する方法～動画コンテンツから得られる効果と事例～ ほか

【第2回】実践編

○スマホで動画撮影から編集までオールインワンで出来る時代に

スマホ動画編集アプリ「VITA」の基本機能と特徴

○実践編／動画撮影から編集・SNSへの掲載方法について

定 員 第1回 20名、第2回 10名

(4) 実践！販売促進セミナー（2回シリーズ）

新規顧客を獲得するためのPOPや看板、広告等について実践的に学ぶセミナーを開催し、より効果的な営業活動を支援します。

時 期 令和5年10～11月

場 所 明石商工会議所会議室

内 容 **【第1回】「新規客を集客できるPOP・看板セミナー」**

○新規客 集客のためのPOP・看板とは？

○参加者の現状のお店や事業所の確認と具体的なアドバイス

【第2回】「来て欲しいお客さまに来てもらえる広告（PR）のコツ」

○自社（店）の「売り」を見つけ出すワーク

○ターゲティングと広告（PR）について

○広告作りの具体的なノウハウ

定 員 各10名

(5) AKASHI 伴走型クラウドファンディング・プロジェクト事業（継続）

明石に事業拠点がある、また明石で事業開設を予定しており、地域経済への波及性の高い計画である事業者や起業家が、実現したい夢や願いをクラウドファンディングで実施できるよう伴走型で支援を行います。

計画のある方は、直接専用ホームページから申し込みもできますが、クラウドファンディング活用セミナーを開催し、受講者の中からも興味のある事業者等を募ります。

専用ホームページ <https://akashi-crowdfunding.jp/>

時 期 セミナー 年度内2回程度

伴走型支援は年度内通じて実施

場 所	セミナーは明石商工会議所会議室またはオンライン会議室 Zoom 伴走型支援は、明石商工会議所会議室、チャットワークなど
内 容	①セミナー開催により、クラウドファンディングなどによるオンライン販売やPR等に興味のある事業者等を募ります。 ②クラウドファンディングを利用するための事業計画を当財団の専門家の支援を受けながら作成します。 ③②の事業計画の中から数社を選定し、当財団の専門家がクラウドファンディングページの作成やライブコマース実行へ導き、その後の広報活動等の支援を行います。
定 員	セミナー 各 20 名（対面開催の場合）、選定 3～5 社

3 人材確保・定着の支援

（１）欲しい人材を獲得する採用面接研修

応募者が自社の求める人材像とマッチしているかどうかを判断し、採用したい人材が他社に流れないように動機づけるための面接の知識とスキルを学びます。

時 期	令和 5 年 4 月 26 日（水）
場 所	オンライン会議室 Zoom
内 容	○面接官の役割と面接の場づくり ○応募者の志望動機を高める方法 ○合否判断の基準を明確化する ほか
定 員	20 名

（２）中堅社員セミナー「部下の力を引き出すマネジメントのコツ」

中堅社員のマネジメント力・リーダーシップ力・コミュニケーション力の向上を目指し、与えられたポジションで社員がその力を発揮する働きやすい組織づくりのポイントを学びます。

時 期	令和 5 年 7 月頃
場 所	明石商工会議所会議室
内 容	○中堅社員の役割と責任について ○人間関係構築の基本 ○「自立」の意識 ほか
定 員	20 名

(3) 人材定着セミナー

「心理的安全性で実現！「この会社で働きたい！」と若手が定着する組織づくり」

若手社員の早期離職防止、人材が定着する組織づくりのために、心理的安全性、早期離職の実情、実際の組織づくりの手順等を学びます。

時 期	令和6年2月頃
場 所	明石商工会議所会議室またはオンライン会議室 Zoom
内 容	○心理的安全性とは ○データで見る早期離職の実情 ○エンゲージメントとモチベーション ほか
定 員	20 名

4 専門家による経営サポートの充実

(1) 専門家による個別相談

起業に関するご相談やビジネスプラン作成、補助金・助成金の申請、その他経営に関するあらゆる課題に中小企業診断士や税理士等の専門家が応じ、支援を行います。

また、Web 会議システム Zoom を利用したオンライン相談も実施します。

対 象	市内等で起業を目指す個人、市内等の事業所
専 門 家	当財団に登録の中小企業診断士、税理士等
利用時間	1回2時間まで（無料）

(2) 大学・産業支援機関・地域金融機関とのネットワークによる支援

明石工業高等専門学校、兵庫県立大学、神戸学院大学や産業支援機関、地域金融機関と連携し、企業のニーズに応じた相談・助言や情報提供を行います。

5 情報発信の強化

財団の実施事業をはじめ、国・県・市の支援制度や産業支援機関等が実施するセミナーや経営に役立つ情報をホームページやフェイスブック、公式ラインを通じて発信します。

6 受託事業

明石市が実施する下記の商工業振興事業を明石商工会議所から受託します。

- ・明石市まち賑わい創出事業補助業務
- ・明石市商業団体共同事業補助業務
- ・明石市街路灯電気料補助業務
- ・明石市先進事例視察等調査研究補助業務

7 個人商店等緊急支援金事業（令和2年度～）

明石市の施策で、新型コロナウイルス感染拡大を受け、休業を余儀なくされる等の理由により、事業の継続が困難になった事業者を緊急的に支援するため家賃の貸付を実施した事業です。この事業の貸付金回収業務が令和4年4月から始まっています。

〈事業内容〉

貸付期間	令和2年4月21日（火）～5月31日（日）
貸付件数	585件
貸付総額	179,568千円
返済開始	令和4年4月26日（据置期間が2年に延長された。）
返済期間	最長36カ月（令和7年3月まで）
返済方法	口座振替

■令和4年4月～令和5年1月までの返済額（口座振替分）

月平均 485件の振替を実施

返済金合計 55,041,485円

借入者が財団の口座へ振込、または持参で完済した件数等(R4年4月まで)

21件 4,937,000円

令和5年1月末時点 返済金額計 59,978,485円

令和 5 年 度

収 支 予 算 書

令和 5 年 4 月 1 日から
令和 6 年 3 月 3 1 日まで

一般財団法人 明石市産業振興財団

正味財産増減予算書

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日まで

(令和 5 年度)

法人全体

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[700,000]	[700,000]	[0]
基本財産受取利息	700,000	700,000	0
特定資産運用益	[0]	[2,000]	[▲ 2,000]
特定資産受取利息	0	2,000	▲ 2,000
財団事業収益	[50,000]	[50,000]	[0]
財団企業支援事業収益	50,000	50,000	0
受託収益	[17,222,000]	[16,677,000]	[545,000]
商工業振興事業受託料収益	17,222,000	16,677,000	545,000
雑収益	[17,000]	[15,000]	[2,000]
受取利息	17,000	15,000	2,000
雑収益	0	0	0
経常収益計	17,989,000	17,444,000	545,000
(2) 経常費用			
事業費	[37,038,000]	[35,063,000]	[1,975,000]
給料手当	6,435,000	6,390,000	45,000
法定福利費	1,090,000	1,040,000	50,000
退職共済掛金	108,000	108,000	0
福利厚生費	65,000	65,000	0
旅費交通費	120,000	120,000	0
通信運搬費	920,000	920,000	0
消耗品費	220,000	220,000	0
印刷製本費	70,000	70,000	0
賃借料	880,000	880,000	0
諸謝金	3,500,000	3,500,000	0
租税公課	30,000	30,000	0
支払負担金	6,440,000	5,460,000	980,000
支払助成金	15,800,000	15,300,000	500,000
委託費	600,000	200,000	400,000
支払手数料	760,000	760,000	0

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
管理費	[7,202,000]	[7,207,000]	[▲ 5,000]
給料手当	715,000	710,000	5,000
法定福利費	140,000	120,000	20,000
退職共済掛金	12,000	12,000	0
福利厚生費	70,000	70,000	0
渉外費	70,000	70,000	0
旅費交通費	30,000	30,000	0
通信運搬費	50,000	50,000	0
消耗品費	150,000	150,000	0
光熱水料費	80,000	60,000	20,000
地代家賃	1,220,000	1,220,000	0
賃借料	820,000	820,000	0
租税公課	300,000	350,000	▲ 50,000
支払負担金	2,780,000	2,780,000	0
支払寄付金	20,000	20,000	0
支払手数料	200,000	200,000	0
保険料	15,000	15,000	0
委託費	500,000	500,000	0
広告宣伝費	30,000	30,000	0
経常費用計	44,240,000	42,270,000	1,970,000
当期経常増減額	▲ 26,251,000	▲ 24,826,000	▲ 1,425,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 26,251,000	▲ 24,826,000	▲ 1,425,000
一般正味財産期首残高	33,745,069	53,945,571	▲ 20,200,502
一般正味財産期末残高	7,494,069	29,119,571	▲ 21,625,502
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[700,000]	[700,000]	[0]
基本財産受取利息	700,000	700,000	0
一般正味財産への振替額	[▲ 700,000]	[▲ 700,000]	[0]
一般正味財産への振替額	▲ 700,000	▲ 700,000	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	207,510,000	207,510,000	0
指定正味財産期末残高	207,510,000	207,510,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	215,004,069	236,629,571	▲ 21,625,502